

## おくりもの

野球のまち阿南推進協議会へ

●故・杉浦 忠氏(元プロ野球選手)の遺品(写真パネル32枚、盾4基、杯1基、ペナント1枚、雑誌27冊)

大阪府堺市 杉浦氏の妻、志摩子様、次女、慶子様から野球関連グッズとして

平島こどもセンターへ

●グランドピアノ1台

徳島市 小原 博様から

阿南市社会福祉協議会へ

●金5万589円

見能林町 翔カラオケ愛好会 代表白浜和子様から第21回チャリティー歌謡ショー「あじさいの宴」におけるチャリティー募金を地域福祉事業活動資金として  
以上、ご寄贈いただきました。ありがとうございました。

## 男女共同参画審議会「公募委員」を募集

阿南市男女共同参画審議会委員の任期が、本年9月末で終了することに伴い、新たな委員を募集します。

応募資格 次の要件すべてに該当する方

▼市内在住の18歳以上の方

(平成26年4月1日現在)

▼阿南市の男女共同参画推進について関心のある方

▼平日の会議(年1、2回程度)に出席できる方

▼市が設置した他の審議会等の委員でない方

▼国および地方公共団体の議員、常勤の公務員でない方

募集人員 3人以内

任期 10月1日から2年間

応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、「阿南市における男女共同参画の推進に対する考え方および応募の動機(様式自由・800字程度)」を添付して、郵送またはファクシミリ、電子メールで提出してください。

応募用紙は、人権・男女参画課に備え付けているほか、市ホームページにも掲載しています。

※応募書類は返却しません。

選考方法 阿南市男女共同参画審議会公募委員選考委員会で審査し、決定します。

募集期間 8月4日(月)～25日(月)

提出先・問い合わせ先 〒774-18501 富岡町トノ町12番地3 人権・男女参画課(☎22-7401・FAX 22-4785・メールアドレス josei@city.anan.tokushima.jp)へ

市長通信

## お元気ですか



阿南市長 岩浅嘉仁

## 阿南・加茂谷の山あいにごだまする若者の声

先般、民間の日本創成会議(座長・増田寛也元総務相)が地方自治体の半数を「消滅可能性都市」として公表し、全国の自治体に大きな衝撃が走りました。

今後30年間で若年女性が半減するとの試算結果が示された896の自治体は危機感にさいなまれ、また、全国1741全ての自治体の人口減対策も都市・地方関係なく、それぞれの地域で自分たちの目の前で起こり得る深刻な現象となつて表れてきています。幸いにして私たちの阿南市は、四国39市の中で生き残り上位8位、徳島県8市では1番という結果となり、市長として一安心しています。

そんな中で明るいニュースが飛び込んできました。この夏、東京から武蔵野大学の学生100人が加茂谷地区にやってきます。8月中旬から約1カ月間、1年生(女子学生が7割)が8班に分かれて4泊5日で農業体験やボランティア活動を行います。これは、鈴江省吾前阿南市東京事務所長と武蔵野大学職員との出会い、そして東京・阿南ふるさと会のフェイスブックでつながった「加茂谷元気なまちづくり会」との「人の縁」がきっかけでした。

加茂谷元気なまちづくり会(山下和久会長)は、人口が減少していく古里に危機感を抱いた有志で結成され、遍路道や新種のカタツムリのPR



をはじめ農地や空き家を活用した移住交流プロジェクトに取り組んでいます。今回も、地元協議会や公民館が連携して、あつという間に30数軒の受け入れ農家が決まりました。その原動力は、古里を愛し、守つてきた加茂谷の皆さんの「地域力」だと思えます。そして、この「地域力」こそが、人口減少社会の中で自治体が存続するために最も大切にしなければならぬものだと私は考えています。

5月に鯉まつりで賑わつた加茂谷の山あいに、今度は若い学生たちの歓声が溢れます。加茂谷の「地域力」と学生の「パワー・発信力」が融合して元気な風を呼び込み、阿南市の移住交流、若者定住モデルという「大きな鯉」が舞い上がることを期待しています。